

第33期事業報告

(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)

I 施設利用者の概況

当期における区民健康村施設利用者総数は延べ68,396人で、施設利用者全体としては前期比3,145人増え、増加率は4.8%となりました。一般利用者は、ふじやまビレッジでは前期比1,939人の増加、なかのビレッジでは35人の減となり、移動教室での利用者は961人の増加となりました。

当期利用者数及び前期利用者数との比較

	前 期 (平成29年度)	当 期 (平成30年度)	比較増減
利用者数	65,251人	68,396人	3,145人
一般利用者	43,409人	45,313人	1,904人
移動教室	18,930人	19,891人	961人
日帰り利用	2,912人	3,192人	280人

II 事業の概況

1 事業の経過及び成果

(1) 施設運営維持管理事業

施設運営維持管理事業につきましては、良質なサービスを安定して提供し続ける取組みとともに、諸設備についても、機能や能力を十分に発揮できるよう入念に点検と整備を行い、常に快適に利用できる状態を維持してまいりました。

ふじやまビレッジでは、せせらぎの湯の建設と運営開始に伴い、利用者の安全を最優先した施設利用に努めるとともに、館内や敷地内の環境整備に力を注ぎ、植栽管理による景観の改善とあわせて良好な利用環境を実現しております。また、せせらぎの湯は8月末から供用が始まり、宿泊利用者のみならず、外来利用者からも快適な設備と良好な景観で高い評価を得ております。なかのビレッジでは、バリアフリー施設として快適に利用できる工夫を積み重ねており、友好の森をはじめとする周辺環境の維持と豊かな自然に囲まれた景観によって幅広い利用者に満足いただいております。

両ビレッジとも、世田谷区と川場村の交流を進める拠点として、移動教室や一般の利用者に豊かな自然環境を活用した多彩な野外活動や、地域の特色を活かした交流事業を提供しております。「森のむら」及び「森の学校」は、移動教室での地域・環境学習や各種研修会、こども里山自然学校などの交流事業、区民による森林保全ボランティアグループなどの活動拠点施設として頻繁に利用されております。

サービス向上の取り組みでは、宿泊者アンケートや公募による世田谷区民の宿泊モニタリングからの具体的な提案や情報を、施設管理や提供サービスの向上に活用しております。また、野菜ソムリエ、コーヒーマイスター、温泉ソムリエの資格を活用した取り組みを行い、館内でお過ごしいただく利用者へのサービス向上に努めてまいりました。

経費の節減では、両施設とも重油消費量の削減に取り組むとともに、館内空調機器の運転を工夫するなど、引き続き省エネルギーの取り組みを重ねております。保守管理では、日常的な点検を入念に行い、常に安心・安全な施設利用環境を維持して快適に利用できる施設運営を実現しております。

(2) 川場村運動公園施設運営維持管理事業

てんぐ山運動公園の管理運営につきましては、利用環境の充実と施設の維持に務めてまいりました。この施設はスポーツ・レクリエーション空間として、野球やサッカーを中心に区民と村民に幅広く利用され、スポーツ交流にも大きな役割を果たしております。当期は、区民3, 116人、村民1, 759人の合計4, 875人が利用しております。この公園は、競技場はもとより園内の樹木や遊歩道なども含めて入念な整備を行っており、里山に囲まれた快適な競技場として利用者から高く評価されております。

(3) 移動教室運営事業

区民健康村「地域・環境学習プログラム」は18年目に入り、多くの学校からの要望に応じております。当期はカントリーガイドやナイトハイクを中心に、学校の希望に合わせたプログラムや野外体験など川場村ならではのプログラム提供を行い、54校103プログラム、延べ9, 385人が利用し、移動教室の特色ある運営の一翼を担っております。

食事提供では、すべての児童が安心して移動教室に参加できることを目標に、通常の献立に加えて食物アレルギーに対応した食事の提供を行っております。また、川場村学校給食センター調理業務での衛生管理手法も活用しております。

学校による野外活動の実施にあたっては、登山道の枯損木撤去や案内板整備などを行い、村めぐりコースではルート of 安全確認を随時行うなど、移動教室の円滑な実施に努めております。

(4) 一般賄事業

一般利用者への食事提供では、利用者の要望を反映した複数の献立を提供し、旬の食材を利用した特色ある料理を提供しており、野菜ソムリエによる料理の説明を加えながら、繰り返し利用される利用者にも満足いただけるよう工夫を重ねております。両ビレッジでは、季節感を大切に川場村ならではの料理を心がけ、川場村内や近隣市町村、県内産を中心に優良な食材を使った料理を提供してまいりました。また、厚生労働省の「卓越した技能者（現代の名工）」として表彰された料理スタッフによる特別料理も好評のうちに利用されております。利用者から高い評価を得ている当社の料理は地域の様々な会合や行事にも頻りに利用され、川場村民からは手頃で充実した料理として高く評価されております。

田園プラザレストランは、道の駅の地産地消推進レストランとして多くの来場者に利用されております。レストランの料理は、季節に合わせた内容と地元産の新鮮な食材や最高級ニジマス「ギンヒカリ」を使った特徴ある料理で好評をいただいております。また、地域に根ざしたレストランとしてほぼ毎月実施しているお客様感謝フェアでも、多くの村民や各種団体等に頻繁に利用されております。

民家レストランの運営は、村有施設を有効活用するとともに、川場村のブランド米「雪ほたか」や地域の良質な農産物を使うことで、川場村ならではの特色ある料理の提供に取り組んでおります。

ピザハウスの運営は7年目となり、多くの利用者から好評をいただいております。当期は群馬県内のピザコンテストで準優勝するなど高く評価されており、さらに良質な商品を提供できるよう一層の技能向上を図り、新商品の開発とともに品質向上に努めております。

(5) 川場村学校給食調理事業

川場村学校給食調理業務では、安心安全な給食を着実に提供しております。調理スタッフは、調理業務はもちろんのこと、5割を超す地域の食材を使いながら、栄養教員と献立検討や食育教育へ積極的に参加し、特色ある給食の実施に力を発揮しております。

(6) 売店経営事業

地域の良質な産物の紹介と販売を念頭に、農家の手づくり品や地場産品の販売に力を入れ、地域の魅力が伝わる運営を行っております。品ぞろえでは多くの村民と日常的な情報交換を行いながら、季節ごとの旬の農産物や村内の農産加工品などをそろえ、健康村ならではの売店運営を心がけております。また、館内飲食の要望に応えるべく、ペルーコーヒーの提供や村内産のリンゴジュースの提供などを行い、ラウンジで寛げる雰囲気作りにも取り組んでおります。

せせらぎの湯の運営では、源泉かけ流し風呂や露天風呂も備えた質の高いくつろぎの場を提供しております。毎週水曜日には区民と村民の交流デーとして入浴料金を割引くなど、区民と村民の交流の場としても位置付けて区民健康村施設の設置目的に沿った運営を行っております。

(7) 交流事業

健康村里山自然学校は、里山としての森林と草地、圃場をフィールドとして事業を展開しており、それぞれの機能や役割を学びつつ、環境保全にもつながる特徴ある活動を展開しております。この学校では、技術講習や安全管理手法の実践などを通して区民や村民のボランティア活動を側面から支援する役割も担っております。

里山塾では、一般区民向けの体験教室、養成教室をはじめ、専門的な内容に特化した専科教室、小学生・中学生を対象とした「こども里山自然学校」、高校生を対象とした「川場まるごと滞在記」など、幅広く区民が参加できる自然体験・野外活動プログラムを体系的に展開しております。農業塾では、専門家及び指導農家から体系的な栽培知識と技術を学べる年間のコースとして開催しており、複数年参加する熱心な受講者も増えつつあります。景観保全に寄与する棚田オーナー制度は15年目となり、受け入れ農家のホスピタリティと相まって区民と農家の日常的な交流が行われています。また、健康村里山自然学校修了者の中からは自主活動グループが作られており、ボランティアとしての森林整備活動や農家と交流しながら継続して農業を学ぶなどの自発的な交流活動を行っております。

このほか日帰りバスツアー、レンタアップル、木ごころ塾木工教室など、様々な交流事業を行っており、冬季には新たな楽しみ方を主にリピーター層に提案し、自然や歴史、文化などを題材にした様々な企画を提供してまいりました。家族連れ利用者などに人気の高い自然観察や自然体験活動では、世田谷区と川場村が共同して保全・育成する「友好の森」や自然豊かな両ビレジ周辺の環境を活用した川場村ならではのプログラムが多く参加者から高い評価を受けております。

なお、これらの交流事業は学識者をはじめ、職人、専属講師、農林業家、自然解説員、野外活動インストラクターや多くの村民の方々の協力によって進められております。

(8) PR活動

区民健康村ホームページでは、四季を通して川場村の魅力を伝える様々な情報とともに、両ビレジの空室状況や交流事業などの紹介を頻繁に行い、メールマガジンでの配信とあわせてタイムリーな情報の提供に努めております。また、世田谷区ホームページのバナー広告などで、より多くの区民の方が容易に区民健康村事業を知る機会を提供しており、閲覧数も年ごとに増加しております。

広告掲載では、区民まつり、246ハーフマラソンなど区内の各種イベントのプログラムやチラシなどへの掲載を行いました。区内各地域で開催されるイベントにも頻繁に出向き、対面PRに取り組んでおります。当期は41会場、延べ62回にわたる出店を行い、良質な農産物の販売で喜ばれるとともに、川場村や区民健康村事業を多くの区民の方々に伝えられる絶好の機会として活用しております。このほかエフエム世田谷での川場村の様々な情報紹介や東急世田谷線の駅のポスター掲示などを行い、積極的にPR活動を行っております。

2 対処すべき課題

当社は、世田谷区民の第二のふるさととして、豊かな自然と環境に恵まれた川場村の魅力を村民と一体となって伝えてまいりました。これまで延べ200万人を超える多くの区民の方々に利用され、様々な場面で交流の場を提供してきた区民健康村事業は、都市と農山村の交流の先進事例として高く評価されております。

当社は、日々変化する利用者の要望に応え、交流事業の一層の活発化やせせらぎの湯運営、食事提供サービスの充実等により区民健康村施設がなお一層世田谷区民に利用される施設運営と事業展開を実現してまいります。また、世田谷区と川場村双方の目的に沿った事業を通して地域社会の活性化に貢献するとともに、両自治体が目指す都市と農山村の交流をさらに進めてまいります。

2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。アメリカ合衆国のホストタウンとなった世田谷区と川場村による競技関係者や訪日観光客等の受け入れにあたっては、当社は、川場村が世田谷区と協力して保ってきた美しい景観と良質な環境の川場村を紹介し、より多くの訪日外国人に様々な体験や交流の機会を提供してまいります。

3 事業別業績、財産及び損益の状況

単位：千円

区 分	前 期 (平成29年度)	当 期 (平成30年度)
施設運営維持管理事業	347,025	346,103
川場村運動公園施設運営維持管理事業	8,492	8,492
森の学校運営維持管理事業	1,590	1,590
川場村学校給食調理事業	22,648	20,960
利用料収入	44,788	50,863
移動教室運営事業	4,999	3,942
移動教室給食賄事業	14,684	15,422
一般賄事業	220,895	224,344
売店経営事業	23,998	29,500
交流事業	37,502	40,085
その他の収入(手数料等)	1,084	1,056
売 上 高 合 計	727,709	742,362
経 常 利 益	7,775	18,682
当 期 純 利 益	7,045	9,973
1 株 当 り の 当 期 純 利 益	8,807円15銭	12,466円65銭

注：千円未満切り捨て

4 従業員の状況

平成31年3月31日現在

使用人数		平均年齢	平均勤続年数
男 性	24人	36歳	15年
女 性	8人	25歳	6年
合 計	32人	33歳	13年

注：上記にはパートタイマーを含んでおりません。

Ⅲ. 会社の概況

1. 主要な事業内容

- 1) 世田谷区民健康村施設の維持管理及び運営事業
- 2) 川場村スポーツ・レクリエーション施設の管理運営事業
- 3) 宿泊に関する事業
- 4) 食堂及び土産品売店の設置経営
- 5) 地場農林畜産物及び同加工品の販売ならびに仲介斡旋
- 6) 旅行業ならびに旅客及び貨物自動車運行事業
- 7) 再生可能エネルギーの研究、開発、供給、販売に関する事業

2. 株式に関する事項

- 1) 株式の状況（平成31年3月31日現在）

①発行可能株式総数 1,600株

②発行済株式の総数 800株

③株主数 2名

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 ち 株 数	出 資 比 率
世 田 谷 区	600株	75%
川 場 村	200株	25%

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	278,935,114	流動負債	65,869,560
現金・預金	225,886,395	買掛金	11,476,089
売掛金	3,113,325	未払金	20,928,094
賄材	7,374,829	未払法人税等	8,424,400
商品	1,639,651	未払消費税等	9,623,400
貯蔵品	1,633,814	賞与引当金	9,042,596
未収入金	38,989,300	預り金	5,773,788
立替金	7,800	その他の流動負債	601,193
仮払金	290,000		
固定資産	138,550,651	固定負債	81,868,219
有形固定資産	57,018,794	退職給付引当金	72,098,287
建物	7,385,532	リース債務	9,769,932
附属設備	3,561,837	負債合計	147,737,779
構築物	3,976,805	(純資産の部)	
機械装置	2,688,733	株主資本	270,637,320
車両運搬具	2,243,892	資本金	40,000,000
工器具備品	14,954,042	利益剰余金	230,637,320
一括償却資産	766,521	利益準備金	10,000,000
リース資産	8,981,240	その他利益剰余金	220,637,320
土地	10,840,192	別途積立金	50,000,000
建設仮勘定	1,620,000	繰越利益剰余金	170,637,320
無形固定資産	353,900		
ソフトウェア	353,900		
投資等	81,177,957		
投資有価証券	16,400,000		
保険積立金	64,721,337		
自動車リサイクル料預託金	36,620		
預け金	20,000		
繰延資産	889,334		
施設調査費	889,334	純資産合計	270,637,320
資産合計	418,375,099	負債及び純資産合計	418,375,099

損 益 計 算 書

平成30年4月 1日より
平成31年3月31日まで

株式会社世田谷川場ふるさと公社

(単位:円)

科 目	金	額
【売上高】		
売 上 高	742,362,424	
売 上 高 合 計		742,362,424
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	9,426,374	
当 期 商 品 仕 入 高	177,855,337	
合 計	187,281,711	
期 末 商 品 棚 卸 高	9,014,480	
売 上 原 価		178,267,231
売 上 総 利 益		564,095,193
【販売費及び一般管理費】		
販売費及び一般管理費合計	545,802,603	545,802,603
営 業 利 益		18,292,590
【営業外収益】		
受 取 利 息	8,771	
雑 収 入	61,600	
雇 用 関 係 助 成 金	320,000	
営 業 外 収 益 合 計		390,371
経 常 利 益		18,682,961
税 引 前 当 期 純 利 益		18,682,961
法 人 税 住 民 税 及 び 事 業 税		8,709,636
当 期 純 利 益		9,973,325

株主資本等変動計算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日 (単位:円)

	株主資本										純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計			
						別途積立金	繰越利益剰余金				
当期首残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	160,663,995	220,663,995		260,663,995	260,663,995
当期変動額											
新株の発行											
剰余金の配当											
利益準備金の積立											
別途積立金の積立											
当期純利益							9,973,325	9,973,325		9,973,325	9,973,325
当期変動額合計							9,973,325	9,973,325		9,973,325	9,973,325
当期末残高	40,000,000				10,000,000	50,000,000	170,637,320	230,637,320		270,637,320	270,637,320